

神戸市2024年度予算案発表にあたって

運動の力で「水道・バス値上げ」「まち壊し」をストップし、市民の暮らしを守る予算に抜本的な転換を

日本共産党神戸市会議員団

神戸市は、2月14日、2024年度当初予算案を発表しました。国民生活を顧みず大軍拡と社会保障削減に突き進む自民党政治に追随する久元喜造市長は、新年度予算案で、物価高に苦しむ市民に水道料金や市バス運賃などの大幅な値上げを打ち出す一方、三宮再開発や神戸空港の国際化などの大型開発にはこれまで以上に予算・市税を投入しようとし

ています。

日本共産党神戸市会議員団は、「暮らしを良くしたい」「わが町を守りたい」と立ち上がった広範な市民の運動と連帯し、2月15日から始まる神戸市議会で、公共料金の値上げをストップし、住民サービスの向上で暮らしを守る予算に抜本的に転換することを求めて全力をつくします。

1 「人口減」加速させた都心・三宮偏重の大型開発に固執

久元市長は“人口の維持回復をはかるため、都心・三宮の再整備など成長戦略を力強く展開する”と莫大な予算を投じて推進してきました。しかし、久元市長就任以来、人口減少を抑制するどころか、予想以上の速度で人口を減少させ、神戸市の推計人口は150万人を下回りました。

しかし、新年度予算案では、これまでの市政運営の反省なしに、「果敢な成長戦略」を進めるとして、神戸空港の国際化に184億円、都心・三宮の再整備に209億円、ウォーターフロント再開発に46億円、国際コンテナ戦略港湾に95億円、大阪湾岸道路に40億円など、大型公共事業に前

のめりになっています。

一方、久元市長は「人口減少時代にふさわしいまちづくりを進めていく」として、利用者の多い駅周辺に、商業と公共施設を集約し、高層マンションを誘致する一方、公立保育園・幼稚園・小中学校、バス路線などの公共基盤を次々廃止縮小しようとしてい

ます。その結果、郊外では空き家・空き地が増え、スーパーや商業店舗の撤退が相次いでいます。集約された駅周辺でも、学校や学童・保育所などで過密でつめこみの劣悪な教育・保育環境をうみ、交通混雑など住環境も悪化しています。

2 「人口減」を理由に、公的責任をなげすて値上げ次々

長引く物価高、暮らしが大変な時、「人口減」や「独立採算」を理由に新年度予算で、水道料金とバス運賃を大幅に値上げする条例案を議会に提案してきました。

水道料金は、14.2%の値上げです。「4人世帯では平均年間6996円」、全世帯で年間

41億円の負担増です。兵庫県下では伊丹市や高砂市・加西市・播磨町などが「住民福祉の増進」（地方自治法）の観点で減免を実施しているもとで神戸市は「独立採算」に固執しています。

市バス運賃は、210円から230円に値上げします。利用

者全体で年間6億6600万円の負担増です。「まちづくり施策に寄与」するとして三宮エリア周辺は市バス運賃を半額（110円）にしなが、地域を支えるバス路線には値上げを押し付けています。

国民健康保険事業も「独立採算」を理由に、保険料の独

自控除を廃止する条例案も提案されています。子育て世帯や障がい者・ひとり親・寡婦世帯への神戸市独自の支援策を、兵庫県統一保険料化を理由に2030年までに段階的に廃止。保険料の増加額は年間約6.2万円。約2万世帯で11億円の負担増です。

3 市民の意見を聞かない冷たい市政の根底に自民党政治が

久元市長は昨年5月の記者会見で、「経済の活力を回復させていく上で求められているのは賃上げ」と認めなが

ら、新年度予算案で、正規職員を市長部局で60人削減、交通局と水道局で70人削減し、窓口業務や安全管理業務のさ

らなる非正規化・民間委託化で低賃金の公務労働者に置き換えをすすめています。

久元市長は、子育て世代の

「経済的理由」が人口減少を加速させたと言いながら、安倍内閣時代の「過度な給付拡大競争を抑制する」との号令

2月15日より2月議会が開会します

2月15日(木) 本会議 (議案質疑)
16日(金)・19日(月) 常任委員会
21日(水)・22日(木) 本会議 (代表質疑)

2月26日(月)～3月6日(水)

予算特別委員会局別審査
3月11日(月) 予算特別委員会 総括質疑
13日(水) 予算特別委員会 意見表明・意見決定

3月15日(金) 本会議

18日(月)・19日(火) 常任委員会
25日(月) 本会議
26日(火) 本会議 (一般質問)

を忠実に守って、子どもの医療費無料化に背をむけています。王子公園の再整備についても、動物園やスポーツ施設

などの維持充実を求める市民の声を無視して、大学誘致を強行しようとしているのも、「自治体に公共空間をつかっ

て稼ぐ」ことを求める国の戦略にそったものです。国民生活を顧みず経済政策でも深刻な政策破綻に陥って

いる自民党政治に、久元市長が忠実に追随しつづけていることが、冷たい神戸市政の根底にあります。

4 運動の力で、地域こわしと負担増を押し返そう！

神戸市は「受益者負担」と物価高を根拠に次々と公共料金値上げを打ち出す一方、小中学校等の学校給食費については、材料費高騰分の全額補助を継続。新年度予算案でも7億8000万円の公費支援が継続されることになりました。

保護者負担増が見送られた背景には、学校給食無償化と

充実を求める署名運動があります。昨年1年間で、無償化を求める署名は市内で2万5000筆を超え、市長も教育長も「国の責任で給食無償化」を求める動きを後押ししています。

子どもの人数の減少を理由に、市立幼稚園13園を廃止する方針（案）が昨年出されま

したが、計画に対する市民意見が1000人を超えるなど、保護者や住民の反対の声が高まっており、市議会に対しても市立幼稚園の存続をもとめる陳情署名が約2万筆提出されています。

教育委員会は、年度内に取りまとめるとしていた「廃園」方針を策定できないとこ

ろに追い込まれています。

「水道料金・市バス運賃の値上げ中止」「地域のスーパー存続」などの署名や住民運動が、負担増計画を押し返し、神戸市の責任で暮らしを支える公的施設を存続させる力になります。ごいっしょに声をあげて政治を変えましょう。

5 身近なところで安価な公共サービスの充実を

人口が減少するも、で、「受益者負担」の押しつけだけでは、料金値上げかサービス後退しかありません。

水道など公共料金の値上げは、家計を直撃し地域経済をますます冷え込ませます。市バス運賃値上げは、市民の外出機会を減らし、高齢者の健

康を悪化させます。市バスや水道など公営事業に対しては必要な神戸市の財政支援（一般会計の繰り入れ）をおこなない「人口減⇒値上げ・サービス後退⇒さらなる人口減」の悪循環を断ち切ることが必要です。

住み慣れた地域で暮らし続けるための生活基盤を、行政

の責任で維持・充実させ、安価な公共サービスを維持することが求められます。子どもの人数の減少に対しても教師や教室をそのまま維持することで少人数学級を実現できます。保育所・幼稚園・学童も、ゆとりある教育・保育に転換すべきです。

また、能登半島地震で、災害から命を救い、救われた命と健康を守る地方自治体の役割の重要性が浮き彫りになりました。消防・救急体制や住民に身近な区役所や建設事務所の正規職員の増員、避難所の整備や必要な備蓄の確保などが求められています。

6 運動と論戦で前進させた主な施策

2024年度予算案では、粘り強い市民の運動と日本共産党議員団の議会論戦によって、実現・前進させた施策もあります。

子育て支援では、子どもが生まれた世帯に1か月健康診査費用を助成（上限4000円）するとともに、育児用品等の配達を月1回（計10回）無料でおこないます。

保育環境の充実では、長年の運動が実り、神戸市独自の民間施設の給与改善費が、小規

模保育など地域型保育事業の保育士へ拡大されるとともに、保育士の4・5歳児の国の配置基準が30対1から25対1へ改善されることになりました。

不登校児童生徒への支援では、全小中学校に校内サポートルームを整備し支援員を配置するとともに、不登校特例校の2025年度開校にむけた準備が開始されます。

高校生の通学費については、市内高校への通学定期代が全額補助で無償化（2024年

9月から）。また高等専門学校生（1～3年生）の授業料も市立高校なみに軽減されます。

児童虐待防止対策についても、こども家庭センターの職員が4名増員されます。

公共交通支援では、敬老福祉乗車制度が地域コミュニティ交通の一部に適用されるほか、神鉄シーパスワンplusの価格も引き下げ（6000円→5000円）られます

障がい者施策の充実では、重度心身障がいの看護師送

迎支援が全ての生活介護事業所に適用されるほか、グループホーム開設整備補助も拡充されます。

高齢化する地域自治組織の負担軽減として、家庭ごみ収集時に職員による清掃やネットの片づけが実施されます。

廃止が表明されていた西区学園都市UNITYの貸館事業と市民講座については、運動が実り、市立外国語大学による事業として一部継続することが決まりました。

日本共産党神戸市会議員団は、30年に及ぶ経済停滞と物価高から暮らしと生業を守り抜くために、政治の責任で賃上げと待遇改善、中小業者への支援強化、消費税減税・社会保障の充実と教育費負担軽減、エネルギーと食料自給率

の向上、脱炭素・原発ゼロで気候危機の打開、ジェンダー平等推進など、対決とともに提案を示し、予算に抜本的な組み替えを求めています。

ぜひご視聴ください

森本真議員・赤田かつのり議員が代表質疑に登壇

日時 2月22日(木) 10時頃から **場所** 市議会本会議場

議会の進行状況によって大きくずれ込む場合がありますのでご留意ください。

ご視聴はこちらから

